第十六講　漢詩／「漱石枕流」

一　次の詩を読んで、後の問に答えよ。

『宿(ル)二建徳江(けんとくかう)(ニ)一』　孟浩然(まうかうねん)

（第１句）　移(シテ)レ舟(ヲ)　泊(はく)(ス)二煙渚(えんしょ)(ニ)一

（第２句）　日暮(にちぼ)客愁(かくしう)新(タナリ)

（第３句）　野曠(ひろ)(クシテ)　天(ハ)　低(た)(レ)レ樹(き)(ニ)

（第４句）　江(かう)清(クシテ)　月(ハ)　近(シ)レ人(ニ)

注　建徳江…今の建徳市付近を流れる川。
　　煙渚…もやにつつまれた岸辺。
　　客…旅。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　対句の有無を答えよ。また、ある場合は、何句と何句が対句か答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「盛唐の詩人」

【李白（りはく）】

・「　　　　」と称される。
・玄宗皇帝に仕えるが、後に追放される。
・自由奔放な作風。
・酒・自然・友人の歌が多い。

【杜甫（とほ）】

・「　　　　」と称される。
・玄宗皇帝に認められるものの、左遷され、その後は不遇。
・不遇な人生から、憤りや悲しい内容の詩が多い。
・政治・社会を描いたものも多い。

【その他】…**孟浩然（もうこうねん）**・**王維（おうい）**（↑「詩仏（しぶつ）」と言われる）など

★「中唐の詩人」

【白居易（はくきょい）】

・字＝楽天。
・平安時代の日本に与えた影響大。『枕草子』や『源氏物語』にも引用される。
・『長恨歌』（↑玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋が題材）・『白氏文集』が代表作品。

【その他】…**韓愈（かんゆ）**・**柳宗元（りゅうそうげん）**など

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ。

『早(つとニ)発(ス)二白帝城(はくていじやう)ヲ一』

朝(あしたニ)辞(ス)白帝彩雲(ノ)間

千里(ノ)江陵一日(いちじつニシテ)還(かへル)

両岸(ノ)猿声(えんせい)啼(なイテ)不(ルニ)レ住(やマ)

軽舟已(すでニ)過(グ)万重(ばんちよう)(ノ)山

注　辞…別れを告げる。　江陵…今の湖北省荊州市(こほくしょうけいしゅうし)。白帝城から江陵(こうりょう)まで舟で約一日かかる。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　この詩の作者は別名「詩仙」と言われている。それは誰か。次の中から選べ。

ア　白居易　　イ　杜甫　　ウ　李白　　エ　王維

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ。

我来(きたリテ)二揚子江頭(とうニ)一望(メバ)

一片(いつぺんノ)白雲数点□(ノ)

安(ンゾ)得(ン)丁置(キ)二身(ヲ)天柱(ノ)頂(いただきニ)一

倒(さかしまニ)看(みルヲ)丙日月(じつげつノ)走(ルヲ)乙人間(ヲ)甲

注　揚子江…長江の別名。「揚子江頭」は「長江のほとり」の意味。
天柱…神話の中に出てくる、天を支えているという柱。

問一　傍線部「一片白雲数点□」について、（ａ）空欄に入る語と、（ｂ）この句全体の解釈との組合せとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　（ａ）淡――（ｂ）白い雲の切れ間から数本の淡い光が差し込んでいる。
イ　（ａ）楼――（ｂ）空の片隅に浮く白い雲と幾つかの建物が見えている。
ウ　（ａ）雨――（ｂ）白い雲が空一面に広がり雨がぽつぽつと降り始める。
エ　（ａ）山――（ｂ）ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。
オ　（ａ）鳥――（ｂ）空には一つの白い雲が漂い数羽の鳥が飛んでいる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四　次の詩を読んで、後の**問**に答えよ（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

江(注)楼夕望招クレ客ヲ

第1句　海天東望夕茫(ぼう)茫(ぼう)(注)

第2句　山勢川形闊復長

第3句　灯火万家城ノ四畔

第4句　星河一道水ノ中央

第5句　風ハ吹ク㆓古木ヲ㆒晴天ノ雨

第6句　月ハ照ラス㆓平沙ヲ㆒夏夜ノ霜

第7句　能(注)(よ)ク就(注)(つ)キテ㆓江楼ニ㆒銷(け)スヤレ暑ヲ否(いな)ヤ

第8句　比(注)スレバ㆓君ガ茅(ぼう)舎(しゃ)ニ㆒(注)校(やや)清涼ナラン

（白居易『白氏文集』）

注　江楼…江(かわ)のほとりのたかどの。　茫茫…ひろびろとしている。

能～否…～することができますか？　就…（場所）で。

比A校B…AにくらべてBは少しはB。　茅舎…茅葺(かやぶ)きの家。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この詩の形式を答えよ。

問二　韻字をすべて抜き出せ。

問三　第２句の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　山の勢い川の形の闊（ひろ）く長きを復（ふく）す。
イ　山勢川形、闊（ひろ）くして復（また）長し。
ウ　山は川の形の闊（ひろ）くして、復（また）長く勢いよし。
エ　山の勢いも川の形も、闊（ひろ）くして復（ふたたび）長し。

問四　この詩には二組の対句がある。その組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　第１句と第２句　　第３句と第４句
イ　第２句と第４句　　第５句と第６句
ウ　第３句と第４句　　第５句と第６句
エ　第４句と第５句　　第６句と第７句

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五　次の文章を読んで、後の**問**に答えなさい（なお設問の都合で、送り仮名を省いたところがある）。

孫子荊（そんしけい）[注]、年 a少時、欲隠[注]、語王武子（わうぶし）[注]、当枕石漱流、誤曰、「漱石枕流。」王曰、「流 b可枕、石可漱乎。」孫曰、「c所以枕流、欲洗其耳。所以漱石、欲礪其歯。」

（『世説新語（せせつしんご）』）

注　孫子荊…人名。
隠…隠遁する。
王武士…人名。

問一　傍線部a〜cの読みをそれぞれ送り仮名も含めてすべて平仮名で答えよ（現代仮名遣いでよい）。

a＝

b＝

c＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　二重傍線部の再読文字「当」と同じ読みである再読文字を、次の中から選べ。

ア　須　　イ　応　　ウ　将　　エ　宜　　オ　盍

★「漱石枕流（そうせきちんりゅう）」＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講

① 次の詩を読んで、後の問に答えよ（なお設問の都合で、返り点と送り仮名を省いたところがある）。

春　江　（唐）白（はく）居（きょ）易（い）

第1句　炎（えん）[注]涼（りやう）昏（こん）暁（げう）苦（はなはダ）推[注]遷シ

第2句　不レ覚エ忠[注]州ニ已（すでニ）二年

第3句　閉（ザシテ）[注]レ閣ヲ只（ただ）聴ク朝[注]暮ノ鼓（つづみ）

第4句　上楼空望往来船

第5句　鶯（あう）声（せい）ニ誘（いう）引（いん）セラレテ来タリ二花下ニ一

第6句　草色ニ勾（こう）留（りう）セラレテ坐ス二水辺ニ一

第7句　唯ダ有リ二春江ノ看レドモ未ダルレ厭カ

第8句　縈（めぐリ）レ砂ヲ遶（めぐリテ）レ石ヲ緑潺（せん）[注]湲（ゑんタリ）

（『白氏文集』巻十八）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

注　炎涼昏暁…暑さと寒さ、夜と朝。
　推遷…移り変わる。
　忠州…今の四川省忠県。作者はここに左遷され、二年間の役人生活を送った。
　閉レ閣…建物にとじこもること。
　朝暮鼓…朝夕の時刻を知らせる太鼓の音。
　潺湲…水のさらさら流れるさま。

（１）この詩は七言律詩である。押韻しているのはどの字か。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　遷　年　船　湲
イ　年　船　辺　湲
ウ　遷　年　船　厭　湲
エ　遷　年　船　辺　湲
オ　年　船　辺　厭　湲

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（２）　第３句、第４句が対句になっていることに留意しつつ、第４句の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　楼に上りて空しく望む往来の船

イ　楼に上りて空望するや往来の船

ウ　楼を上りて空より望めば往来の船

エ　楼を上りて空しく望めば船往来す

オ　楼に上りて空より望めば船往来す

②　「所㆓以ノ養㆑フ母ヲ者ハ」の傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いはゆる　　イ　ところをもつて

ウ　ゆゑん　　エ　ここをもつて

③　「当極怒嘔血」は、「当に怒りを極めて血を嘔かしむべし」と読む。どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　当㆓極怒㆒㆑嘔㆑血

イ　当極㆑怒㆑嘔血

ウ　当㆓極㆑怒嘔血㆒

エ　当㆑極㆓怒嘔㆒血

オ　当㆓極㆑怒嘔㆒㆑血

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第十六講】

★【李白】…「**詩仙**」
【杜甫】…「**詩聖**」

〔模範解答〕

一

問一　五言絶句
問二　新・人
問三　有り　／　第３句と第４句

二

問一　七言絶句
問二　間・還・山
問三　ウ

三

問一　エ

四

問一　七言律詩
問二　茫・長・央・霜・涼
問三　イ
問四　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五

問一　a　わかき　　b　べく　　c　ゆえんは

問二　イ

★**「漱石枕流」**＝負け惜しみの強いこと。

〈現代語訳〉

一

『建徳江で舟に宿る』

舟を移動して、夕もやにつつまれた岸辺に泊まる。
日暮れに、旅の愁いが新たに湧いてくる。
野原は広々とし、天は木に垂れそうなほど低く、
川は澄んでいて、月は手に届きそうなほど近い。

二

『早朝に白帝城を出発する』

朝早く、白帝城に朝焼けの雲がたなびくころ、（白帝城に）別れを告げる。
千里も離れた江陵まで、一日で帰る。
両岸の猿の鳴き声が絶えることなく、
軽快な舟はすでに幾重にも重なっている山々を通り過ぎる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三

私が揚子江のほとりに来て望見すれば、
ひとひらの白い雲と幾つかの山があるばかりである。
我が身を天柱の先端に置いて、
太陽や月が人間界を巡っていくのを上から逆に眺めてみることができようか、いやできない〔が、眺めてみたい〕。

四

『河のほとりの高殿で夜の景色を望み、客を招く』
海の水平線のかなたを東に見ると、薄暗い夜の景色が広々と果てしなく広がっている。
山の姿も川の形も、広くかつ長くつながっている。
灯が多くの家々に灯り、街の四辺にまでも広がり、
天の川が一筋に、河の真ん中にかかっている。
風は枯れ木に吹きかかり、晴れているのに降っている雨の音のようである。
月は砂を照らし出し、夏の夜の霜のように白く光っている。
水辺の高殿で、暑さを忘れてみないか。
君の茅葺きの家に比べて、少しは涼しいであろう。

五

孫子荊は、若い時、隠遁しようと思い、王武士に語るときに、石を枕にして川の流れで口をすすごうと言うべきなのに、間違って言うことには、「石で口をすすぎ川の流れを枕にする」と。王武士が言うには、「川の流れを枕にできたり、石で口をそそぐことができたりするのか」と。孫子荊が言うには、「川の流れを枕にする理由は、耳を洗いたいと思うからである。石で口をそそぐ理由は、歯を磨こうと思うからである」と。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十六講　解答解説

〔解説〕

①（1）七言詩なので、初句と偶数句の最後の文字が押韻する。よって、正解はエ。

（2）対句である第3句の読み「閣を閉ざして只だ聴く朝暮の鼓」と同じ構造にならなければいけない。第4句の最後の三文字「往来船」は「往来の船」になる。よって、ア、イ、ウに絞る。第3句の三・四字目の構造は、「只だ聴く」と三字目が四字目にかかっていき、終止している。同じように「空しく望む」と四字目にかかって終止しているアが正解。

②「所二‐以」は「ゆゑん」と読み、「原因・理由・手段・方法」の意味を表す。よって、正解はウ。

③「当に～べし」と読むことから、「当」は再読文字だとわかる。したがって、返り点の付いていないイは不適。次に「怒りを極めて」と読むことから、「極怒」は下の一字から返って読んでいるので、「極」にはレ点を付ける。したがって、アとエも不適。次に「血を嘔く」と読むことから、「嘔血」の「嘔」にもレ点が付くのでウも不適。よって、正解はオ。ちなみに、「嘔」から再読文字「～べし」に二字以上戻るため、「嘔」には一レ点、「当」には二点が付く。

〔解答〕

①（1）エ　（2）ア　②ウ　③オ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。